

国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No. 261

2020.9-10

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2020年9月1日
編集・発行 一般財団法人千里文化財団

インタビュー 小長谷 有紀 先生

…梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」…

21世紀の知的生産を考える その一助となれば嬉しい。



— 展示について教えてください。

梅棹先生が亡くなつて一年後の二〇二〇年春、特別展「ウメサオタダ才展」を開催しました。特別展は先生の一生を網羅する展示でしたが、今回は生誕一〇〇年の企画展。スペースも限られているので「知的生産」にテーマを絞りました。「知的生産」ということは、いまでも多用されていますが、梅棹先生のつくった造語です。先生の著作『知的生産の技術』（一九六九年初版）は今年一〇〇刷目が出版されました。「知的生産」をキーワードにしたのは、いまでもその有効性が失われていないから。展示は、梅棹先生がこした実物資料とデジタルコンテンツで構成しました。没後一〇年のあいだに進めてきたアーカイブズ化の作業の成果を生かしているのがこの企画展のポイントです。

— 展示にあたり、とくに注目した梅棹先生の活動はありますか。

梅棹先生の知的生産の方法は、フィールドワークを通して構築されました。企画展では『知的生産の技術』の執筆以前に参加した三つの学術調査、内モンゴル調査（一九四四〜四六年）、カラコラム・ヒンズークシ学術探検（一九五五年）、東南アジア学術調査（一九五七〜五八年・一九六二〜六三年）に注目して、梅棹忠夫の知的生産のあり方を探ることにしました。内モンゴル調査は、先生がはじめて参加した本格的な学術調査探検です。この時、記録を整理するために修練した経験が『知的生産の技術』の出版につながりました。カラコラム・ヒンズークシ学術探検は、日本における戦後初の学際的な調査です。第一次東南アジア学術探検では、初めて隊長を務めました。（次頁へ）



【会期】 2020年9月3日（木）-10月20日（火）
【会場】 国立民族学博物館 本館企画展示場

第500回記念国立民族学博物館友の会講演会
梅棹忠夫生誕100年記念対談

知的生産のフロンティアの原点 探検家 梅棹忠夫を語る

対談 石毛 直道(民博元館長・名誉教授)、吉田 憲司(民博館長)
ファシリテーター 飯田 卓(民博教授)
日時 2020年9月5日(土) 13:30~15:30(開場13:00)
場所 国立民族学博物館 本館講堂

対談の様子は後日、友の会のホームページならびにYouTubeのみんぱく友の会チャンネルで公開します！
(9月下旬公開予定)

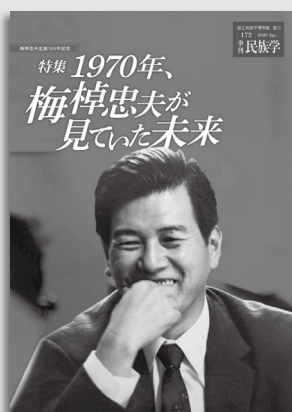
本講演会は定員に達したため受付を終了しました。
たくさんのご応募、ありがとうございました。



<https://www.senri-f.or.jp/umesao100/>



展示とあわせてご覧ください



『季刊民族学』172号 梅棹忠夫生誕100年記念特集 「1970年、 梅棹忠夫が 見ていた未来」

2020年は梅棹忠夫生誕100年、そして大阪万博50年にあたります。1970年当時は未来に関する論考が多く登場しました。当時梅棹忠夫が見ていた未来を、未来学の提唱、大阪万博との関わり、知的生産の技術の3点からさぐります。(2,500円+税)

『月刊みんぱく』4月号 特集「知的生産のフロンティア」

企画展と連携した2020年4月の特集号。梅棹忠夫の知的生産の過程とその方法論を外観し未来のアーカイブズのあり方を考えます。(250円税込)

『梅棹忠夫——知的先覚者の軌跡』

2011年に開催した特別展「ウメサオタダオ展」の関連書籍。41名の執筆陣が梅棹忠夫の90年の全生涯とその知的営みにせまります。(2,400円+税)

国立民族学博物館ミュージアム・ショップのほか、ミュージアム・ショップWEBサイトでご購入いただけます。友の会会員は会員割引が適用されます。

■ミュージアム・ショップWEBサイト「World Wide Bazaar」
<https://www.senri-f.or.jp/www/html/>

予告！

本企画展は、みんぱくでの会期を終えたのち京都大学総合博物館でも開催予定です。京都大学が所有するゆかりの研究者たちがのこした資料を加えた展覧会は、その名も「知的生産のフロンティア」京都大学展。みんぱくとあわせてこちらも楽しみに！(詳細は決まり次第「友の会ニュース」でご案内します)

三つの調査は梅棹先生にとっても、日本社会にとってもフロンティア性のある体験であったといえるのではないのでしょうか。

——デジタルコンテンツについて教えてください。

展示としての新しい試みは、梅棹先生がのこした資料を使って、二世紀の知的生産のフロンティアを探る点にあります。情報学の専門家の協力を得て、企画展限定で公開するデータベースビューアーをつくってもらいました。フィールドノートやスケッチブック、メモや写真など、のこされた資料は内容も用途も多岐に渡ります。それぞれを

カテゴリー分けしたものを人間が操作するだけなら従来のデータベースと変わりませんが、いまやAI時代。資料のもつ情報をコンピューターに読ませて、紐付けさせることをめざした「梅棹アーカイブズ・クルーズ」と「資料データベース」を用意しました。情報を自在に入れ替えながら思想を構築するのが梅棹流の知的生産です。このビューアーも、誰がみても梅棹流だとわかったちで展開しています。

梅棹先生が亡くなって一〇年、デジタルでできることは飛躍的に進化しました。アーカイブズも資料をのこすところ、デジタル化するところまでは誰でもできる。でもそのアーカイブズ資料を将来的にどのように活用し、展開していくのか。AIを利用するなら、何をさせたら知的生産になるのか。それはいまやみんぱくに限らず、全人類の課題です。知的生産のフロンティアとは、人類の未来を考えること。なんでもグローバルに展開すれば良いわけではないけれども、文献や資料の閲覧については、国や地域を超えてオンラインアクセスできるのがニューノーマル時代にふさわしいと思います。

(聞き手・事務局)

特別展 先住民の宝

◆会期：2020年10月1日(木)～12月15日(火) ◆場所：国立民族学博物館 特別展示館

世界には、現在約70カ国以上の国々に、約3億7,000万人の先住民が暮らしており、その民族の数は少なくとも5,000といわれています。本特別展では、圧政や差別に苦しみながらも、日々力強く、希望を失わずに生きてきた彼らの心の拠り所であり、民族としての誇りでもある740点の「宝」とともに、先住民の世界を紹介します。

開幕に先立ち、みんぱくホームページの特別展告知ページでは、研究者が展示場を案内する解説動画を公開しています。ぜひ、ご視聴ください。

…友の会で楽しむ特別展…

会員証の提示で
観覧料割引になります。

会員証・みんぱくフリーパスの提示により、特別展と本館展示それぞれの団体料金の差額でご観覧いただけます。本特別展は一般110円になります。

『季刊民族学』171号は
特別展の関連特集号です。

特別展で紹介している先住民のアイデンティティ表現、その政治的・社会的背景としての権利回復運動や芸術復興運動を掘り下げて解説しています。

特別展開連の友の会講演会は
みんぱくフリーパスの方も無料です。

10月3日(土)の友の会講演会は、特別展に関連した話題です。特別展開連の友の会講演会は、みんぱくフリーパスをお持ちの方も無料でご聴講いただけます。



予約が必要な館内催しの申込方法

新型コロナウイルス感染症の予防のため、当面、各種催しは人数制限を設けて実施します。

定員や申込方法が異なりますので、ご協力をお願いいたします。(9月と10月の催しについては4ページもご覧ください)

ゼミナールや映画会には維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。

会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。

催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内「催し物の再開にあたってのお知らせ」をご確認ください。

みんぱく映画会 会場:本館講堂/定員112名

みんぱく映画会・第48回みんぱくワールドシネマ 判決、ふたつの希望

司会・解説 菅瀬 晶子(民博 准教授)
日時 9月12日(土)13:30~16:30(開場13:00)

申込期間

- 友の会電話先行受付(定員24名)
対象:維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。
- 一般受付
・オンライン予約
・メール・電話予約
期間:9月10日(木) まで

みんぱく映画会

斧は忘れても、木は覚えている

解説 盛田 茂(東洋大学アジア文化研究所客員研究員)
司会・解説 信田 敏宏(民博 教授)
日時 10月10日(土)13:30~16:30(開場13:00)

申込期間

- 友の会電話先行受付(定員24名)
対象:維持会員、正会員、家族会員
期間:9月3日(木)~9月9日(水)
- 一般受付
・オンライン予約
・メール・電話予約
期間:9月10日(木)~10月8日(木)

申込方法

- 友の会電話先行受付(定員24名)
該当期間中に友の会事務局までお申し込みください。
★申込先着順/本人を含む2名まで
【申込先】千里文化財団友の会事務局
06-6877-8893(9時~17時、土日祝を除く)
- 一般受付
該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。
★申込先着順/本人を含む2名まで
・オンライン予約
みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
・メール・電話予約
予約の際に、①「●月●日みんぱく映画会」②参加人数 ③氏名(漢字・フリガナ) ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥住所をお知らせください
(③~⑥は参加者全員分。①の「●月●日」は催し開催日)。
【申込先】千里文化財団イベント予約受付
メール yoyaku-event@minpaku.ac.jp
電話 06-6877-8894(9時~16時、土日祝を除く)

※要展示観覧券(友の会会員は会員証提示)。事前に予約された方には入場整理券を
当日11時から本館2階講堂前にて配布します。

※定員に満たない場合11時から本館2階講堂前にて当日参加を受け付けます。

みんぱくゼミナール 会場:本館講堂/定員112名

第502回 梅棹忠夫に学んだ知的生産の技術

講師 小長谷 有紀(民博 客員教授)、高野 明彦(国立情報学研究所 教授)
飯田 卓(民博 教授)
日時 9月19日(土)13:30~15:00(開場13:00)

申込期間

- 友の会電話先行受付(定員24名)
対象:維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。
- 一般受付
・オンライン予約(定員50名)
期間:9月17日(木) まで
・当日参加受付(定員38名)

第503回 アイヌ文学の世界 ——韓・日との比較

講師 北原 モコトウナシ(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)
齋藤 玲子(民博 准教授)
日時 10月17日(土)13:30~15:00(開場13:00)

申込期間

- 友の会電話先行受付(定員24名)
対象:維持会員、正会員、家族会員
期間:9月14日(月)~18日(金)
- 一般受付
・オンライン予約(定員50名)
期間:9月23日(水)~10月15日(木)
・当日参加受付(定員38名)

申込方法

- 友の会電話先行受付(定員24名)
該当期間中に友の会事務局までお申し込みください。
★申込先着順/本人を含む2名まで
【申込先】千里文化財団友の会事務局
電話 06-6877-8893(9時~17時、土日祝を除く)
- 一般受付
下記いずれかの方法でお申し込みください。
★申込先着順/本人を含む2名まで
・オンライン予約(定員50名)
みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
・当日参加受付(定員38名)
11時から本館2階講堂前にて受け付けます。

※参加無料。事前に予約された方には入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて
配布します。

館内催しの詳細はこちら！ <https://www.minpaku.ac.jp/museum/event/outside>



感染予防に ご協力 ください

博物館の感染症対策、それに伴う来館者のみなさまへのお願いをみんぱくホームページのトップページで公開しています。みんぱくでは当面のご来館に際しては、オンラインでの事前予約をおすすめしています。受付フォームもトップページにあります。友の会会員は入館予約が不要です。ご入館の際は1階受付カウンターで会員証をご提示ください。同行者が非会員の場合はオンラインでの入館予約をおすすめください。スムーズにご入館いただけます。また、催しの参加予約をされている方も入館予約は不要です。



ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



9月・10月のイベントスケジュール

■企画展

9/3(木)～10/20(火)
梅棹忠夫生誕100年記念企画展
「知的生産のフロンティア」

■特別展

10/1(木)～12/15(火)
「先住民の宝」

●友の会講演会

9/5(土) 第500回記念
石毛直道、吉田憲司、飯田卓 ※受付終了
10/3(土) 第505回 岸上伸啓

●みんぱくゼミナール

9/19(土) 第502回 小長谷有紀、高野明彦、飯田卓
10/17(土) 第503回

北原モコットウナシ、齋藤玲子

●みんぱく映画会・みんぱくワールドシネマ

9/12(土)「判決、ふたつの希望」
10/10(土)「斧は忘れても、木は覚えている」

●みんぱくウィークエンド・サロン

9/13(日)丸川雄三、9/27(日)飯田卓
10/4(日)岸上伸啓、10/11(日)南真木人
10/18(日)信田敏宏、10/25(日)鈴木紀

- ◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。
- ◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

友の会講演会のご案内

10月以降の友の会講演会の受付方法

- ・下記種別の友の会会員のみなさまは、当日会員証のご提示のみ(事前予約不要)でご参加いただけます。
- ★対象:維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、特別フリーパスをお持ちの方 ※第505回はみんぱくフリーパスも対象
- ・上記対象以外のお客さまは事前予約が必要です。友の会ホームページ内各講演会の受付フォームよりご予約ください(参加費500円)。
- ・感染症の状況を踏まえ、オンライン中継をおこなう月がございます。中継配信での聴講は友の会会員に限りです。ご希望の方は、各講演会の受付フォームよりご予約ください。尚、著作権等の都合で、配信をおこなわない講演会もございます。

第505回 オンライン中継あり!

トーテムポール

——カナダ北西海岸先住民の宝

講 師: 岸上 伸啓(人間文化研究機構 理事、民博 教授[併任])
日 時: 10月3日(土) 13:30～14:40(開場13:00)
会 場: 国立民族学博物館 講堂(先着順・定員110名)

北アメリカ北西海岸地域にある先住民の村々には、動物や人間などの姿を彫りこんだ巨大な木柱が、多数立てられています。それらはトーテムポールとよばれ、現在、ハイダやクワクワカワクなど各民族の宝であり、象徴です。トーテムポールとは何か、その歴史の変遷、現在の制作状況とそれに関連するポトラッチ儀礼について解説します。あわせて、みんぱくの前庭に立っている新旧2本のトーテムポールの制作についても紹介します。

★一般の方、ならびに中継配信ご希望の友の会会員は受付フォームよりご予約ください。

★特別展関連の友の会講演会はみんぱくフリーパスの方も無料です。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/505tomo/>



第506回 ★第2土曜日に開催します★ オンライン中継あり!

呪術として生き残った仏教

——社会主義期モンゴルにおける世俗化・仏教実践・還俗ラマ

講 師: 島村 一平(民博 准教授)
日 時: 11月14日(土) 13:30～14:40(開場13:00)
会 場: 国立民族学博物館 講堂(先着順・定員110名)

ソ連を中心とした旧社会主義国では、無神論が標榜され宗教が抑圧されていたことは知られています。しかし社会主義期、宗教は無くなっていたのでしょうか。この講演では、かつて社会主義国だったモンゴル国を事例に、社会主義による世俗化は、実は「呪術化」だったのではないかと、という逆説を提示します。モンゴルは、人口の6割ほどがチベット・モンゴル仏教を信じている「仏教国」です。本講演では、モンゴル仏教の現在から過去を見ていきます。

★一般の方、ならびに中継配信ご希望の友の会会員は受付フォームよりご予約ください。

★11月は都合により第2土曜日に開催します。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/506tomo/>



※本紙掲載の情報は、2020年8月21日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する場合があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会
一般財団法人 千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1(国立民族学博物館3階)
電話: 06-6877-8893(平日9:00～17:00)
FAX: 06-6878-3716
e-mail: minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ
<https://www.minpaku.ac.jp>



Facebook
<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>